

平成27年度事務事業評価シート(平成26年度実績)

事務事業コード	030101010	予算コード	01014500	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B		
事務事業名	ふれあいのまちづくり事業			正規職員数	0.09	国庫支出金		有効性	A	少子高齢化が急速に進む中、近年では深刻な社会問題として取り上げられている孤立死などへの対策としては、小地域ネットワークによる地域住民が主体となった個別・グループ支援活動は、非常に有効な活動である。今後も、行政サービスでは行き届かない制度の狭間におかれた要援護者はますます増加していくことが見込まれることから、このような地域福祉活動への支援は充実させていくことが望ましい。	
担当課	障害福祉総務課			嘱託職員数	0	府支出金	3,994	効率性	A		
根拠法令等	市単独事業			臨時職員数	0	市債		妥当性	A		
	■要綱・要領			歳出(千円)		その他	7,099	受益者負担	該当なし		
	泉佐野市ふれあいのまちづくり事業費補助金交付要綱			人件費総額	705	一般財源	706				
						減価償却費	0				
事務事業類型	運営事業	評価区分		フルコスト(千円)	11,799	緊急性		A	事務事業実施内容		
実施手法	補助・負担			市民1人当たりコスト(円)	117	公的関与		B	一人暮らし高齢者やひとり親家庭、引きこもりなど社会から孤立する人の増加が問題視されているが、地域の中で支援を必要としている人の把握を積極的に行い、交流活動も活発に実施した。活動指標においては、ネット数は増加していることから、効果的な対象者の把握が出来ていると考えられる。個別支援・グループ支援では一定の高水準を保っており、効果的な地域福祉の推進を図ることができた。		
対象	不特定の市民			活動指標	H26実績	実施主体・委託化	A	他の事務事業との関連			A
支援を必要とする人	対象数		グループ支援活動	1,775.0	成果指標						
事業の内容	小学校区(長南小校区は2ヶ所)ごとに地区福祉委員会を設置し、グループ支援活動及び個別支援活動をボランティアの協力を得て実施、事務局は市社協。市はこの活動を補助している。なお、当該事業は大			対象ネット数	1,925.0	財政健全化計画		該当なし			
事業の内容	阪府地域福祉・子育て支援交付金事業の対象となっている。			協力員(ボランティア)登録人数	1,513.0	財政健全化の取組		該当なし			
				グループ支援活動参加延人数	33,920.0	改革改善プラン達成度	該当なし				
				個別支援活動実施延人数	63,071.0						
				協力員活動人数	1,513.0						
				各校区総会	14.0						
				コスト指標	H26実績						
事業の目的	ボランティアや各種支援団体を育成し、地域が福祉の推進に取組むことにより、安心して暮らせる社会を自らが形成していく。			対象ネット数1人当たり経費	6,129.0						